

産婦人科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	日本産科婦人科学会周産期委員会周産期登録事業及び登録情報に基づく研究
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 藤原祥裕
担当科等	産婦人科
研究責任者	助教 齋藤拓也
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	三重大学医学部産科婦人科学教室 教授 池田 智明
研究の意義・目的	日本産科婦人科学会会員が所属する施設で、当該年度において母体・胎児・分娩等の関連医学情報を既定の登録フォームに入力し、収集します。収集されたデータを各年ごとに解析・集計することにより、我が国の周産期領域における疫学的、医学的傾向を把握し、さらに原データを個票単位で蓄積、集積を行い、本会会員の求めに応じて二次利用を可能とする総合データベースを構築することを目的とします。
対象となる患者さん	2020年1月から2027年12月31日までの期間で、当院で妊娠22週以降に分娩に至った方。
研究の方法	下記の「研究に用いる資料・情報」の項で記載した項目について、対象の方の診療録よりデータを抽出し、WEB登録を行います。
研究期間	倫理審査承認日 ~ 2027年12月31日
研究に用いる試料・情報	試料：なし 情報：分娩週数、分娩日時、分娩方法、産科合併症、出産体重、性別、Apgar値、臍帯動脈血pH、母体転帰、児の転帰など
外部への試料・情報の提供	日本産科婦人科学会の管理するWEB上で、個人の名前などを削除した状態で登録します。
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2027年12月31日までに下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学 医学部 産婦人科学講座

担当者：助教 齋藤 拓也

〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1

電話 0561-62-3311 (内線 22153)